

11月	矢作川 愛護モニター報告	モニター区間	矢作川:左右岸15.0km~21.0km 管轄出張所:安城出張所
実施日	平成 29年 10月 13日	実施区間	矢作川:右岸12.0km~18.0km

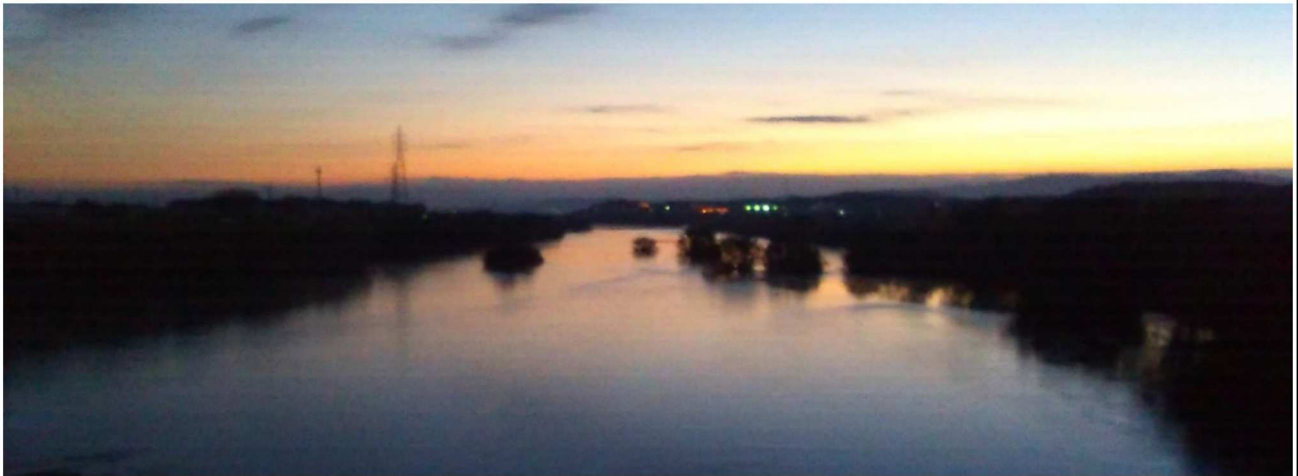
11月になるとすっかり冬の様子でした。
今回の報告ではモニター区間にある橋からの景色について報告します。

第5章1節 志貴野橋 参考文献より

管理者:愛知県(知立土木事務所) 県道桜井西尾線

旧橋は昭和四十二年流失、昭和四十四年度災害復旧と国庫補助合弁工事。

(当時は市道であった為西尾市の施工)



2017/11/13/05:55志貴野橋より上流を撮影

第5章2節 小川橋 参考文献より

管理者:愛知県(岡崎土木事務所) 県道碧海桜井停車場中島線

江戸末期に渡し船が出来て、その渡し場を「大帳(おおちょう)」

「福地」「合歡木(ねぶのき)」の渡し、等と呼んでいました。



2017/11/13/06:00小川橋より上流を撮影

11月	矢作川 愛護モニター報告	モニター区間	矢作川:左右岸15.0km~21.0km 管轄出張所:安城出張所
実施日	平成 29年 10月 13日	実施区間	矢作川:右岸15.0km~18.0km

第5章3節 美矢井橋 参考文献より

管理者:愛知県(岡崎土木事務所) 安城幸田線

初代、明治十八年頃青野の経営により作られました。「青野橋」と呼ばれましたが、不安定な橋の為に別名「こんにやく橋」とも呼ばれたそうです。



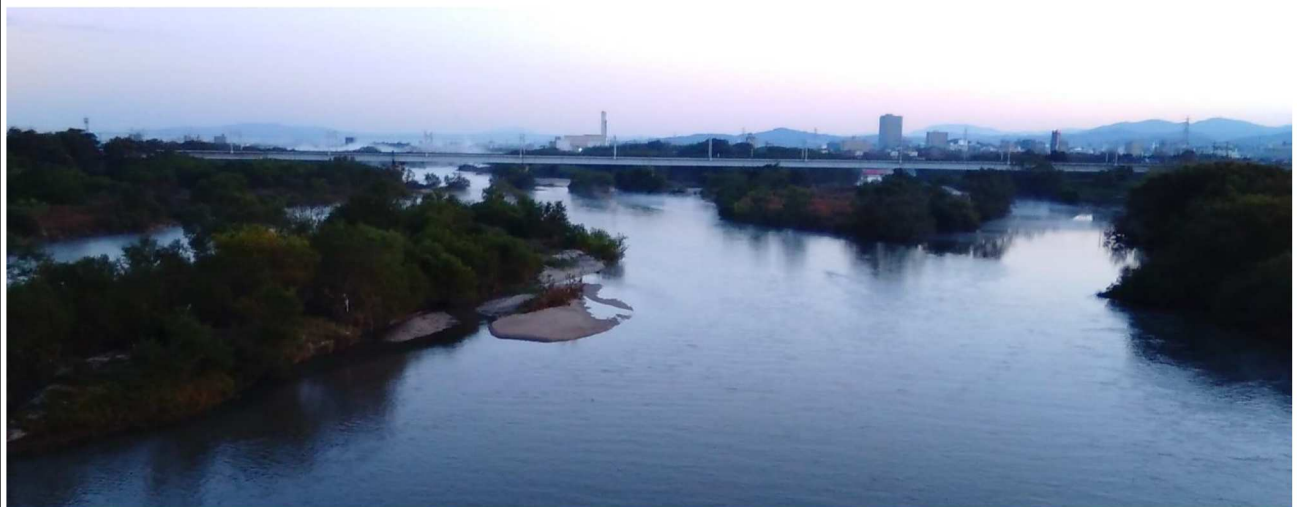
2017/11/13/06:15美矢井橋より上流を撮影

第5章4節 渡橋 参考文献より

管理者:愛知県(岡崎土木事務所) 岡崎刈谷線

昔の名称は「志賀須架の渡し」と言いました。

慶長年間鎌倉街道として土橋があり、後に東海道としては主流が矢作橋のルートに移った、と言われます。



2017/11/13/06:25渡橋より上流を撮影

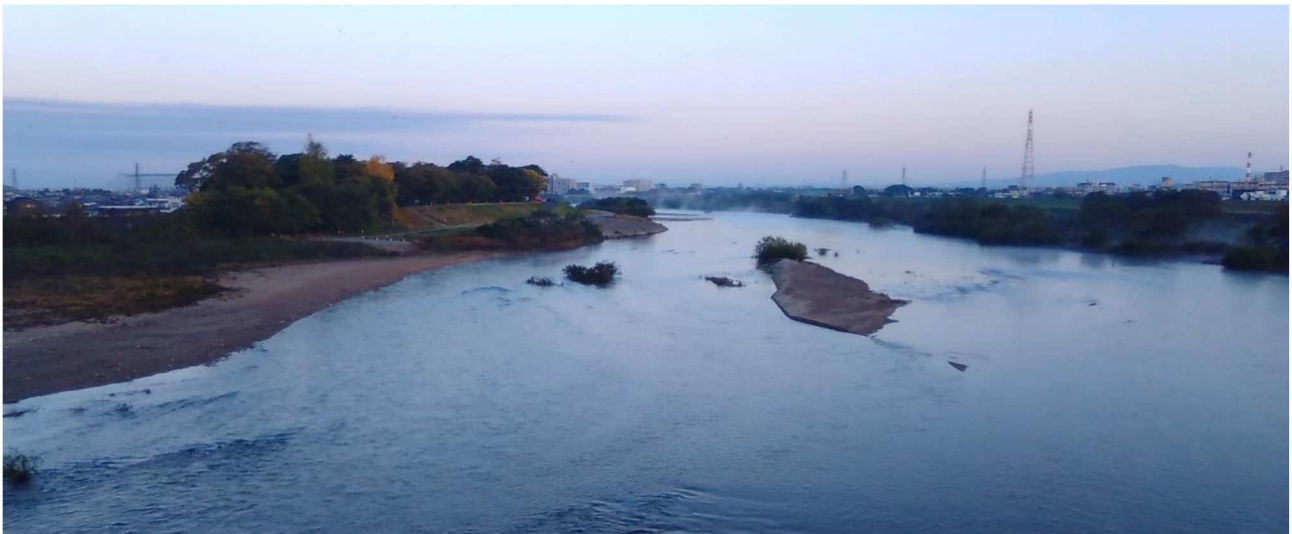
11月	矢作川 愛護モニター報告	モニター区間	矢作川:左右岸15.0km~21.0km 管轄出張所:安城出張所
実施日	平成 29年 10月 13日	実施区間	矢作川:右岸18.0km~20.0km

第5章5節 矢作橋 参考文献より

管理者:国(建設省名古屋国道事務所) 国道1号

「矢作町の歴史」町史編集委員会発行に依ると「伝説によれば飛鳥時代に百済の帰化人が架けたという。」

※矢作橋(古い記録では矢橋)はたくさんの記録(絵画、歌)などがあります。



2017/11/13/06:25矢作橋より上流を撮影

第5章6節 日名橋 参考文献より

管理者:愛知県(岡崎土木事務所) 名古屋岡崎線

明治の末から橋の出来るまで「日名の渡し」と言われ、舳越から日名町の間は渡船でした。



2017/11/13/06:25日名橋より下流を撮影

11月	矢作川 愛護モニター報告	モニター区間	矢作川: 左右岸15.0km~21.0km 管轄出張所: 安城出張所
実施日	平成 29年 10月 13日	実施区間	矢作川: 右岸20.0km~24.0km

今回撮影した場所と方向をまとめました。



参考文献は以下のとおりです。

「矢作川」

平成3年3月

発行 編集 愛知県豊田土木事務所

企画 愛知県土木研究会豊田支部